

国語科学習指導案

単元名「せつめいする文しょうをよもう」

教材名「じどう車くらべ」(第1学年)

令和3年11月11日(木) 第5校時 1年1組教室
1年1組 11人

<授業改善の視点>

クレーン車がどうしてそのような「つくり」になっているのかを考える場面において、オクリンクで意見を共有することで、児童は自分の考えを深めることができるであろう。

I 単元の構想

1 単元の目標

単元の目標	
知識及び技能	・事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。
思考力、判断力、表現力等 (読むこと)	・事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 ・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
学びに向かう力、人間性等	・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

2 評価規準

【知識・技能】

・事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)

【思考・判断・表現】

・「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア)

・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)

【主体的に学習に取り組む態度】

・進んで文章を読み、説明における順序の重要性を知ること、自分が説明するときにかきたいことを見つけようとしている。

3 単元計画及び指導方針(評定に用いる評価は困い文字)

時	選	学習活動	評	指導方針	ICTの活用
1	つかむ	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車の種類について、知っているものを発表する。 ・範読を聞き、出てきた自動車や説明されていたことについて確かめ、学習課題を設定する。 	態	<ul style="list-style-type: none"> ・挿絵を参考にさせながら、出てきた自動車の種類を確認させる。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書のワークを活用して、内容の確認をする。「しごと」だけでなく、「つくり」についても説明されていることを押さえ、学習課題を設定するようにする。 </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>単元の課題 1ねん1くみの「じどう車ずかん」をつくるためのコツをさがそう。</p> </div>					
2	追究する	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉える問いの文や答えとなる自動車の事例を確かめ、段落の関係について捉える。 	知	<ul style="list-style-type: none"> ・問いが二つあること、三つの事例を挙げて答えが書かれていること、「しごと」と「つくり」が「そのために」でつながっていることに気付かせる。 	
3		<ul style="list-style-type: none"> ・バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。 	思	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」には赤、「つくり」には青の付箋紙を貼り、書いてあるところを予想してから、ワークシートにまとめる。探すのが難しい児童には、ピン 	

4		・トラックの「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	思	トカードとして、マス目の書いてあるものを適宜わたすようにする。
5 本時		・クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取り、ワークシートにまとめる。	思	・オクリンクを活用して、「しごと」と「つくり」の関連づけを共有することで、自分の考えを深めさせる。また、「ふりかえり」を蓄積することにより、単元を通した児童の変容を見取りやすくする。
6		・どんな順番で自動車が登場しているかを話し合う。	知	・デジタル教科書のワークを使い、ばらばらになった挿絵を並び替えながら、身近なものから順に登場していることを気付かせる。
7	まとめる	・はしご車の「しごと」と「つくり」を考え、ワークシートにまとめる。	態	・これまでに学んだことを活用し、「しごと」にあった「つくり」を選んで書かせる。「そのために」を適切に使っているか、児童同士で確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>次の単元「せつめいする文しょうをかこう」で、 1ねん1くみの「じどう車ずかん」をつくる。</p> </div>				

4 校内研修とのかかわり

「自ら学び、考え、表現できる児童の育成 ～『学びをつなぐ授業づくり』を中心に～」という校内研修のテーマに沿い、前単元で学んだ「問い」と「答え」の文章構成に気をつけて読み、内容について自分なりに考え、表現しようとする基礎・基本の力を育てていきたい。

II 本時の学習

<ねらい>

説明する文を読み、クレーン車が「しごと」をするために、どのような「つくり」になっているのか捉えることができる。

学習活動	時間	指導上の留意点	ICTの活用
1 本時のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> クレーン車はかせになろう。</p> </div> <p>T：「はかせ」は、①「しごと」と「つくり」についてわかる ②考えたことを伝える、の二つができるということですね。今日はクレーン車はかせを目指しましょう。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元の課題」を確認し、本時の学習に必要感をもたせる。 ・前時までの学習をふりかえり、めあてを考えられるようにする。 	
2 本文を音読する。 3 「しごと」と「つくり」が書いてあるところをだまかに捉える。 <p>T：「しごと」が書いてあるところにピンク「つくり」が書いてあるところに青の付箋紙を貼りましょう。 S：「つくり」は、2つ書いてあるね。 T：「しごと」と「つくり」を考えながらも一度読んでみましょう。</p>	5	<ul style="list-style-type: none"> ・「しごと」はピンク、「つくり」は青と、付箋紙の色を決めておき、本文の内容を視覚的にも捉えやすくする。 ・「つくり」は2つの文があることに気付かせる。 	
4 ワークシートに「しごと」と「つくり」をまとめる。 <p>T：クレーン車の「しごと」を確かめましょう。 S：クレーン車のしごとは、「おもいものをつり上げる」です。 T：クレーン車の「つくり」を確かめましょ</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒントカードとして、マス目の書いてあるものを用意し、机間巡視をしながら必要に応じて渡す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【 提示 】 ・児童の書いたものを拡大投影機で発表させる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・クレーン車の「うで」と「あし」は、挿絵で確認 	

う
S : クレーン車は、「じょうぶなうでが、のびたりうごいたりするように」つくってあります。
S : 「しっかりしたあし」がついています。

5 どうして、その「つくり」なのか考える。

T : クレーン車は、どうして「じょうぶなうでがのびたりうごいたりするように」つくってあるのでしょうか。また、「しっかりしたあし」がついているのでしょうか。自分の考えを書いて、オクリンクで送りましょう。
S : ものをつり上げるため。
S : にもつをうごかすため
S : おもいものをうごかすため

S : 車たいがかたむかないようにするため。
S : ぐらぐらしないように
S : おもいものをつり上げてもらいたいじょうぶなようにするため

T : みなさんの考えを、見ていきましょう。
S : 似たような考えのカードがあるぞ。
T : どのカードとどのカードかな？

T : 「しごと」と「つくり」は、どんな言葉でつながっているかな？
S : 「そのために」です。

20

しておく。
・「じょうぶなうで」だけや、「のびたりうごいたりするように」だけでは、不十分であることをおさえない。
・確認をした必要最小限の言葉に、赤・青鉛筆で線を引く。

【共有】

- ・児童には、「うで」と「あし」のそれぞれについて、意見が書けるようなカードを送っておく。
- ・児童に自分の考えたことをカードに書かせ、送信させる。時間内に送れなかった児童には、他の児童の考えを見てからでよいことを伝える。
- ・理由を述べるときには、「～だから」「～ので」等を使っているか、確認させる。
- ・ただ動かすのではなく、重いものを動かすために「じょうぶなうで」がついていることも気付かせる。
- ・何枚かずつ取り上げて、確認する。似ているところや違うところを拡大する。
- ・いずれの「つくり」も、クレーン車の「しごと」をするために、考えられていることを捉えさせる。「そのために」でつながっていることを、気付かせる。

<まとめ>
クレーン車は、「おもいものをつり上げる」ために、「じょうぶなうで」や「しっかりしたあし」がついている。

【評価規準】(ワークシート・観察)
クレーン車が「しごと」をするために、どのような「つくり」になっているのか捉え、自分なりの考えを記述している。

6 ふりかえりをする。

<振り返り> (視点：わかったこと・これから学びたいこと)
T : クレーン車はかせになれましたか。①「しごと」と「つくり」についてわかる。②考えたことを伝える。の2つができれば◎、1つなら○、できなかったら△を、オクリンクで送りましょう。また、これからもっと学習したいことや感想のある人は、色をつけて下さい。

T : 次の時間は、「はしご車」の「しごと」と「つくり」を書いてみましょう。

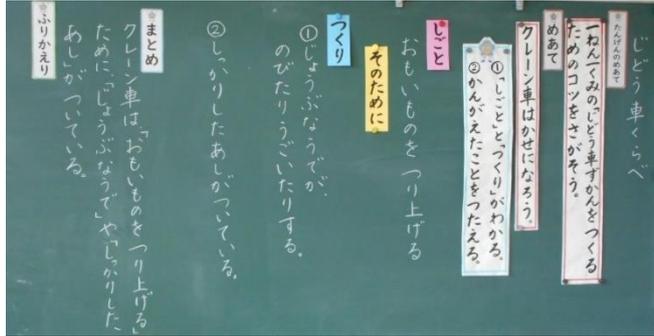
T : 最後に、クレーン車の動画を見てみましょう。

5

【記録・保存】

- ・今日学習して、2つの条件が達成できたら◎、1つならば○、両方できなかったら△を書いて送る。これからもっと学習したいことや感想がある児童は、色をつけさせる。

<板書>



<実物投影機>

学習活動①
児童のワークシート

学習活動②
教科書の本文

<電子黒板>

学習活動①
教科書の本文

学習活動②
オクリンクで共有する場面

学習活動③
オクリンクでふりかえりの場面